



真宗大谷派 存明寺通信

NO.221

2024年(仏歴2555年)9月10日

しゅうそしんらんしょうにんごたんじょう りっきょうかいしゅう  
宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年

きょうさんほうよう ぞんみょうじ ぐんしゅう  
慶讃法要in存明寺 2026年(令和8年)11月2日(日)・3日(月) 嚴修

夏を知り尽くしているかのようなセミは、幼虫の頃を地中で過ごすため、春の桜の風景や秋の紅葉の風景を知らない。そのようなセミが、どうして自分がないている季節を夏だと知ることができようか。これは経典に出てくるたとえ話です。

セミとは、実は私のこと。自分のことは自分が一番よく知っている、と人は言いますが、それは本当でしょうか。生まれてきたことの意味や生きる意味を、私は知っているのでしょうか。自分のことを知らないもの、それを人間と言います。

しんしゅうおおたには ぞんみょうじ  
(真宗大谷派 存明寺)

蟬 夏になくセミ。識らずー知らない  
伊虫ーこの虫 朱陽の節ー夏という季節

蟬 姑 (けいこ)  
春秋を識 (し) らず  
伊虫 (いちゅう) あに  
朱陽 (しゅよう) の節を  
知らんや

じょうどろんちゅう どんらん  
浄土論註 曇鸞

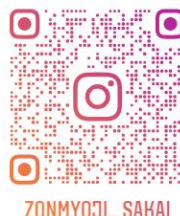


存明寺のHP <https://zonmyoji.jp>

存明寺 Instagram とHP 定期的に更新中!

お寺の活動や諸行事、掲示板の言葉や花手水、法話動画など、定期的に更新中です。ぜひご覧ください。

↓ インスタ ↓



↓ 存明寺 HP ↓



## 私への問いかけ 名を呼ぶこと リスペクトすること

2024年夏のパリオリンピックでは、いくつもの印象に残るシーンがありました。

連覇が期待された柔道の阿部詩選手が二回戦で負けて泣き崩れた時のこと。会場にいた人々は、異国の選手に対して「うた、うた、うた、うた」と、その人の名を呼ぶ「うたコール」で選手を励ました。

また女子マラソンの時、先頭集団から遅れてしまった日本人選手に対して、沿道にいた人々は全体を使って懸命に応援をしていました。ゴールを目指して走るひとりの人間に対するリスペクト（尊敬）の心を感じ、とても印象に残りました。名を呼ぶこと。相手もリスペクトすること。それらはとても大切なことであり、尊いことであることを、強く感じました。

そんなオリンピック開会中も、私たちは戦争を止めることができませんでした。平和の祭典の裏側で、正義を掲げる手が武器を握り、罪のない人間の命を奪っていったのです。

そこには名を呼ぶことや、目の前の相手をリスペクトすることとは正反対の姿勢があったのではないのでしょうか。相手の名を忘れ、リスペクトすることを忘れたとき、人間は残酷なことを平気で行ってしまう存在のようです。

戦争やオリンピックが私たち人間に問いかけています。あなたは目の前の人の名前を、ていねいに呼んでいますか？ 相手をリスペクトしていますか、と。

（住職 酒井義一）

### 私を照らすひかりの言葉

○目の前の方を  
ただの人と思うなよ  
高橋卯平うへい

○正義を掲げる手が  
武器を握る  
澤面宣了さわも

○正義は勝つ  
いつも誰かを傷つけて  
渡邊元浄げんじょう

○「私は正しい」  
すべて争いの根は  
ここに  
藤森教念

戦後79年目の今、心に刻みたい言葉



## 講師に和田英昭さんをお迎えして 存明寺 夏の法話会開催される！



初の試みである「夏の法話会」が7月21日に存明寺を会場に行われ35名が参加しました。講師は和田英昭さん（岐阜高山教区照明寺住職）。最初に参加者から今の思いや疑問などを語っていただき、その後先生からの法話がありました。一人ひとりの思いに答えていただいた法話だからこそ、心に響く時間となりました。

夕方からは存明寺スタッフ手作りの料理をつまみながら懇親会が行われました。リラックスした雰囲気の中、今回の法話会に参加して感じたことなどが語られていました。

### ■和田英昭さん語録

- ・耳で聞くのではない、毛穴で聞くのだ。
- ・忙しいのは、怠<sup>なま</sup>けている証拠だ。
- ・人生はやり直すことはできないけれど、生き直すことはできる。
- ・親鸞<sup>しんらん</sup>の生き方に感動した人がいる。その感動が今の私にまで伝わってきているのだ。
- ・言葉からつかまれる。あなたは生きてますか？それとも死なずに生きてるだけですか？
- ・不安というのは真実からの呼びかけ。あなたはそれで本当にいいのか？
- ・亡くなって終わりではなく、亡くなって出会い直していく世界がある。
- ・ないものを欲しがらず、あることを喜ばせてもらおう。
- ・あれがあったからこそというものが、真宗<sup>しんしゅう</sup>のご利益<sup>りやく</sup>。

## 夏の法話会(7月21日) 写真館



↑熱く教えを語る和田英昭先生



↑本堂で輪になっての開会勤行



↑自らの思いを先生に届けます



↑ロビーでの最後の集合写真



↑懇親会でのスピーチ



↑懇親会は住職と坊守の手作り料理

9月6日(金) 13時 おそうじの日  
 9月14日(土) 14時 樹心の会  
 お話:井ヶ瀬恵子さん佐藤友成さん酒井義一住職  
 内容:勤行・お話・語り合い・全体会  
**9月22日(日)** 11時と13時 秋のお彼岸法要  
 お話:清光やす子さん高橋昭彦さん酒井義一住職  
 内容:無量寿法要・お彼岸法要・お話  
 9月28日(土) 14時 グリーフケアのつどい  
 大切な方を亡くした人々のつどい  
 10月12日(土) 14時 樹心の会  
 お話:岸木勉さん&松本維邦さん&酒井義一住職  
 10月18日(金) 10時 おみがきのつどい  
 10月22日(火)~24日(木) 真宗本廟奉仕団  
 大人の修学旅行 **「ただいま参加者募集中！」**  
 11月2日(土) 14時 報恩講のゆうべ  
**3日(日) 12時** 報恩講  
 お話:田中顕昭さん(九州教区・長崎県)  
 11月16日(土) 14時 樹心の会 **「9日から変更」**  
 お話:城ノ下恭博さん酒井浩美坊守酒井義一住職  
 12月14日(土) 14時 樹心の会  
 お話:長島巖さん酒井大樹副住酒井義一住職  
 12月21日(土) 14時 グリーフケアのつどい  
 大切な方を亡くした人々のつどい  
**1月1日(水・元旦)** 10時 修正会  
 年の初めはお寺で初もうで。  
**※真宗聖典輪読会(副住職主宰)** 毎月1回  
 火曜日 2時~5時 輪読・発題・語り合い  
**※こども会・こども食堂・子育てサロンも、**  
**随時開催中です。**

お寺にっどう人びと



↑今年も咲いた、門前の蓮の花



↑永代経法要での本堂の風景



↑副住職主宰の「聖典輪読会」



↑こども会でのクッキー作り

**「ただいま参加者募集中！」**  
**■おとなの修学旅行 真宗本廟奉仕団2024**  
 親鸞さまのおひざ元で、親鸞さまに出遇う旅。5年ぶりに復活します！  
 日時 10月22日(火)~24日(木)  
 場所 京都東本願寺(ご本山)  
 講師 和田英昭さん(岐阜高山教区)  
 費用 48,000円  
 内容 両堂参拝・法話・座談・清掃奉仕等  
**※只今の参加者は、12名です。**

東京都世田谷区北烏山4-15-1  
 真宗大谷派 存明寺(ぞんみんやうじ)  
 住職 酒井義一(しゅゐげいしん)  
 TEL 03-3300-5057  
 FAX 03-3300-5880  
 E-mail : sakai@zomyoji.jp

**【あとがき】**  
 ▼私事ですが、この秋ついに65歳となり、晴れて前期高齢者の仲間入りをさせていただくことになりました。  
 ▼自分が高齢者?自覚はほとんどありません。まだまだ若いつもりです。しかし、リモート会議の画面に映った自分の顔は、まさに疲れた初老のおっさん。身は正直で、すでに立派な?高齢者です。  
 ▼こんな言葉が身に沁みます。「亡き人があなたも死す身だと 呼びかけてくる」誠にその通りです。  
 ▼やがて死ぬ身を生きている酒井義一よ。残された時間は少ないぞ。本当にやるべきことをしているか?先を見定めて、やるべきことを急ぐのだぞ!そんなご催促を受ける身となりました。  
 ▼ぼちぼちといていねいに生きていきたいものです。  
 住職 **義一**

